

「外国人女性のための役立つインフォメーション」タガログ語版完成！



Hello! It's Summer once again. Japan is so popular among the tourists as a summer destination. Known for its beautiful landscape, delicious food and unique adventure, Japan has become a target not only for tourists but also for migrant workers because of its diverse culture. Every year there is a great influx of migrant workers and their dependents coming in to Japan.

In this regard, it is important that information is accessible and multi-lingual as well, to keep up with the changing times.

AWEP introduced a newly-translated "Useful Information for Foreign Women Living in Japan". It was translated in Tagalog language by yours truly. The guidebook is a compilation of important information that foreigners need to know. Thanks to AWEP, all information became accessible through QR codes in the guidebook. Just click it and you can access the place or the website in minutes. Now that this guidebook is in Tagalog, more Filipino could benefit from this. Hopefully, more and more foreigners would find this book useful and easy to use.

(野田ジーン)

こんにちは！また夏がやってきました。日本は夏の旅行先として、観光客に大変人気があります。美しい景観、美味しい食べ物、そしてユニークなアドベンチャーで知られる日本は、その多様な文化から、観光客だけでなく、移住労働者にとっても魅力的な場所となっています。毎年、多くの移住労働者とその家族が来日しています。こうした時代の変化に対応するためには、だれもが情報にアクセスしやすく、しかも多言語対応がされていることが重要です。

AWEP は、「外国人女性のための役立つインフォメーション」という冊子を制作しました。これは私がタガログ語に翻訳しました。このガイドブックは、外国人が知っておくべき重要な情報をまとめたものです。ガイドブックに掲載されている QR コードからすべての情報にアクセスできるようになり、数分で目的の場所やウェブサイトへアクセスできます。このガイドブックがタガログ語版になったことで、より多くのフィリピン人がこの恩恵を受けることができるでしょう。より多くの外国人にとって、この冊子が便利で使いやすいものになることを願っています。

(翻訳:鋤柄利佳)

※冊子をご希望の方は AWEP 事務所までご連絡ください。
AWEP のウェブサイトから PDF 版をダウンロードすることができます。
<https://tcc117.jp/awep/foreigner/>



海外事業

生産者動向 フィリピン：ランパラハウス

昨年 11 月に、リーダーのマリッサさんが生産再開を表明されました。ご自身の体調と相談しながら、少しずつ縫製に取り組んでいます。体調には波があるそうで、治療の副作用で右腕が思うように動かず、辛いところもあるようですが、継続に意欲を見せています。何回かの試作を経て、今は本格製作を開始、エコバッグやトートバッグ、鍋敷きなど、所有するフィリピンの伝統織物を生かした作品づくりに取り組んでいるところです。まもなく全品完成し日本に発送するとのこと。到着を楽しみに待っています。(奈良雅美)



製品紹介（ネパール・MKS ハンディクラフト）

熱中症予防にお勧め「ヘンプのボトルホルダー」



暑いシーズンが始まりました。熱中症予防のための対策の基本はやはり水分補給。ペットボトルや水筒を持ち歩く人も少なくないと思います。そんな方にお勧めしたいのが、この製品。500 ミリリットル程度のペットボトルはもちろん同様のサイズの水筒も入れられます。

ここでポイントなのが、長さの違うホルダーが 2 本ついており、シーンに合わせてアレンジできること。バッグの持ち手にぶら下げられる短いものと、肩から斜めに下げられる長めのものがついています。また、素材もポイントです。ネパール特産のヘンプ（麻の一種）は、水の使用量が少なくすみ、また農薬・化学肥料不要と環境に負荷が少ないという特徴があります。

お気に入りの飲み物で暑い夏を気持ちよく乗り切りましょう。(奈良雅美)

ヘンプのボトルホルダー
(ネパール・MKS ハンディクラフト) 小売価格 2,200 円(税込み)
※ご購入は各地の登録店舗様、または、AWEP 通販サイトにて。



メンタルヘルスセミナー

「みんなで考える子どものスマホ依存」を開催 (2025 年 2 月 24 日)

講師 山内 浩美先生 (臨床心理士) 広島大学 ハラスメント相談室 准教授

2023 年度に開始したメンタルヘルスセミナー。通算 4 回目の講座は、フィリピンコミュニティのお母さん方からの希望もあり、子どものスマホ依存について。今回も、広島大学の山内浩美先生を講師にお招きしました。これまで実施した講座で一番多い、20 名近くの参加がありました。

インターネット依存症とは？なぜ私たちはインターネット依存症になってしまうのか？といったお話から、克服するための取り組みの紹介があり、最後は「私たち大人はこの問題に対して何ができるのか」を、参加者それぞれの経験を振り返りながら話し合いました。

今回、複数の子どもたちがお母さんと一緒に参加し、講座の最後には、自分たちのことばで感じたことを話してくれました。この講座の後、あるお子さんは、自らの意思でスマホを大人に預け、毎日の就寝時間が早くなった、という嬉しい報告もありました。

今年度もまた別のテーマでの講座を 2 回開催予定です。日頃忙しいみなさんが、心の中のモヤモヤをゆっくり話せる時間にできるように準備しています。(鋤柄利佳)



生活協同組合コープこうべ主催

虹っ子スクール「多文化共生を学ぼう」(2025 年 3 月 9 日)



コープこうべさんが毎年開催されている「虹っ子スクール」は、小学生を対象としたプログラムで、全 10 回、毎回異なるテーマが取り上げられています。

今回、私たち AWEP が依頼を受けたテーマは「多文化共生」。小学生に何をどのように伝えたら興味を持ってもらえるか、スタッフでアイデアを出し合い準備しました。

できるだけ身近なこと、自分ごととして考えられることをと、「兵庫県には何か国・地域の出身の人がいると思いますか？」(正解は 157 か国)といった三択クイズから始め、「みんなで想像してみよう」と、「日本の学校ははじめてで、日本語はまったくわからない子が自分のクラスに転校してきました。その子はどんな気持ちになっているでしょうか？何を手伝って

ほしいでしょうか？」というテーマを班で話し合い、その後全体に発表してもらいました。「不安だと思う」「まず声をかける」「学校のことを教えてあげる」「日本のことを教えてあげる」「その子の国の話を聞く」「翻訳アプリを使う」「わからなくてもあせらないでゆっくりはなす」といったいろいろな意見を出してくれました。

短い時間でしたが、これからの世界を生きていく子どもたちに、既に身近にある異文化・多文化に気づき、興味を持って理解し合おうとするきっかけになってくれればと願っています。(鋤柄利佳)